

★ソフトウェアサイエンス研究会 (SS)

専門委員長 緒方和博 副委員長 中田明夫
幹事 小林隆志・肥後芳樹 幹事補佐 島 和之

★知能ソフトウェア工学研究会 (KBSE)

専門委員長 金田重郎 副委員長 糸野文洋
幹事 小形真平・橋浦弘明 幹事補佐 岩田 一・櫻井孝平

日時 7月13日(水) 9:40~17:30
14日(木) 9:40~17:50
15日(金) 9:30~11:40

会場 北海道立道民活動センター 1060 会議室(札幌市中央区北2条西7丁目, <http://homepage.kaderu27.or.jp/intoro/access/index.html>)

議題

13日午前

◎平成26年度ソフトウェアサイエンス研究奨励賞 表彰式

SS-1. テスト不可能プログラム中の準テスト可能コアのテストインテグレーション ○中島 震 (NII)・Bui Ngoc Hai (VNU)

SS-2. シーケンス図のメッセージ順序の適正な修正手法

○岡野浩三 (信州大)・原内 聡 (三菱電機)・田島洋介・小形真平 (信州大)

SS-3. 組込みソフトウェアを対象とした状態遷移表抽出手法

○山本椋太・吉田則裕 (名大)・竹田彰彦 (JASA)・館 伸幸・高田広章 (名大)

13日午後 (12:50~)

4. 探索的手法による impure リファクタリング検出

堤 祥吾 (阪大)・吉田則裕 (名大)・崔 恩瀨 (奈良先端大)・井上克郎 (阪大)

5. メタヒューリスティクスを用いた集約可能コードクローン量の推定

石津卓也 (阪大)・吉田則裕 (名大)・崔 恩瀨 (奈良先端大)・井上克郎 (阪大)

6. 実装戦略を推定できたプログラムの脳波 山本愛子・上野秀剛 (奈良高専)

KBSE-7. ドメインモデルを用いたアクター間のゴール異存関係分析 海谷治彦 (ジンダイ)

KBSE-8. UML ステートマシン図学習支援システム ○小形真平・岡野浩三 (信州大)

KBSE-9. 制約充足問題として捉える漢詩作成・推敲過程—制約の調査結果と、それに基づく支援方法の検討—
古宮誠一 (NII)

10. Java における関数型インタフェースの拡張 三宅 阜・丸山勝久・紙名哲生 (立命館大)

11. 組込みシステムへのコンテキスト指向プログラミング技術の適用 江坂篤侍・野呂昌満・沢田篤史 (南山大)

14日午前

SS-1. 欠陥の同時修正支援における関数クローン検出ツールの有効性調査

○沼田聖也 (阪大)・吉田則裕 (名大)・崔 恩瀨 (奈良先端大)・井上克郎 (阪大)

SS-2. How developers copy code? A case study of Mylyn data set ○Eunjong Choi・Iida Hajimu (NAIST)

SS-3. 任意粒度機能モデルに基づくソースコード検索手法へのデータフロー解析の導入の試み 神谷年洋 (島根大)

14日午後 (12:40~)

SS-4. ツップ木に基づく木圧縮法の実装と問合せ処理法の提案 ○西村 卓・橋本健二・関 浩之 (名大)

SS-5. Yampa プログラム実行のための振舞いモデル ○市橋友樹・結縁祥治 (名大)

SS-6. 難読性の高い Malbolge コードを生成するコンパイラのための中間言語

○河邊翔平・酒井正彦・西田直樹・関 浩之 (名大)

7. “Dependability Assurance Framework for Safety Sensitive Consumer Devices” 標準化

石崎直哉 (トヨタ自動車)・田口研治 (産総研)・松野 裕 (日大)・春山浩行 (TIS)・宮崎比呂志 (富士通)

8. 不確かさを包容する統合開発環境 iArch-U

渡辺啓介・中村隼也・深町拓也・鶴林尚靖・細合晋太郎・亀井靖高 (九大)

9. チケット管理システム等を活用したプロジェクト評価手法の提案及びツールの開発

小山裕司・二宮 誠・川山相基 (産技大)

SS-10. コード行数に基づいた開発者の貢献度とそのエントロピーを用いた OSS プロジェクトの分析

○山内一輝・阿萬裕久・川原 稔 (愛媛大)

SS-11. メソッド名の長さ構成に着目したソースコード品質に関する定量的調査

○鈴木 翔・阿萬裕久・川原 稔 (愛媛大)

SS-12. システムログと組織情報を活用した業務フロー仕様復元に向けて

○三部良太・田中匡史（日立）・小林隆志（東工大）・小林信吾（JEX）

15日

1. Deep Learning のリポジトリマイニングへの適用に向けた初期研究

松本卓大・山下一寛・亀井靖高・鷗林尚靖（九大）

2. コードクローン拡散過程における人的影響を調査するための追跡ツールの試作

大平雅雄・久木田雄亮（和歌山大）

SS-3. 中大規模 OSS 開発時の Information seeking のためのトレーサビリティ可視化ツールの開発

○沓澤 脩・櫛山淳雄（学芸大）・鷺崎弘宜（早大）

SS-4. 動的機能検索における関連度と探索戦略 ○中野真明貴・林 晋平・小林隆志（東工大）

◆情報処理学会；ソフトウェア工学研究会連催

☆SS 研究会

【問合先】

肥後芳樹（阪大）

TEL [06] 6879-4111, FAX [06] 6879-4114

E-mail : higo@ist.osaka-u.ac.jp

◎最新の情報は SIGSS 研究会ホームページで御確認下さい.

<http://www.sa.cs.titech.ac.jp/sigss/>

☆KBSE 研究会

【問合先】

飯島 正（慶大）

E-mail : iijima@ae.keio.ac.jp

幹事団

E-mail : kbse-staff@mail.ieice.org

◎最新の情報は KBSE 研究会ホームページで御確認下さい.

<http://www.ieice.org/iss/kbse/>